

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

延岡市準備委員会 設立総会・第1回総会



つむ 紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎 国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

日時 令和4年12月23日(金) 14時

会場 カルチャープラザのべおか ハーモニーホール

設立総会 次第

1 開 会

2 設立発起人紹介

3 設立発起人代表あいさつ 延岡市長 読谷山 洋司

4 説明事項

- ・説明事項 1 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会の概要について・・・・・・・・・・・・・・・・ P 2
- ・説明事項 2 延岡市開催予定競技及び開催予定施設について・・・・・・ P 5
- ・説明事項 3 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会の開催に向けたスケジュールについて・・・・・・・・ P 7

5 報告事項

- ・報告事項 1 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会延岡市準備委員会設立趣意書について・・・・・・・・ P 8

6 仮議長選出

7 審議事項

- ・第 1 号議案 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会延岡市準備委員会会則(案) について・・・・・・・・ P 9
- ・第 2 号議案 第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会延岡市準備委員会委員・役員等(案)について・・・・・・・・ P 14

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会
延岡市準備委員会設立発起人会

発起人名簿

(順不同・敬称略)

所 属	役職	氏 名
延岡市	市長	よみやま ようじ 読谷山 洋司
延岡市議会	議長	ほんぶ やすとし 本部 仁俊
一般社団法人 延岡市スポーツ協会	会長	すえつぐ みのる 末次 稔
延岡商工会議所	会頭	よしたま のりお 吉玉 典生
延岡市区長連絡協議会	会長	もりぐち まさてる 森口 正輝
延岡市障がい者自立支援協議会	会長	かい ゆみこ 甲斐 由美子
延岡市教育委員会	教育長	さわの こうじ 澤野 幸司

説明事項 1

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の概要

1 大会概要

国民スポーツ大会（国スポ）は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの推進と地方文化の発展に寄与することを目的として行われる国内最大のスポーツの祭典です。

全国障害者スポーツ大会（障スポ）は、障がいのある選手が、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいの社会参加の推進に寄与することを目的とした障がい者スポーツの祭典です。

※現在の国民体育大会は、令和6年に佐賀県で開催される第78回大会以降、「国民スポーツ大会」に名称が変更され、略称も国体から国スポ（こくすぽ）となります。

2 開催年、大会名称、愛称、スローガン、マスコット

開催年	令和9年（2027年）
大会名称	第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
愛称	日本のひなた宮崎国スポ・障スポ
スローガン	<small>つむ</small> 紡ぐ感動 神話となれ
マスコット	みやざき犬



つむ 紡ぐ感動 神話となれ

日本のひなた宮崎国スポ・障スポ

第81回国民スポーツ大会

2027

第26回全国障害者スポーツ大会

3 主催

国民スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本スポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県となります。また、各競技会については、日本スポーツ協会加盟競技団体、会場地市町村を含めたものとなります。

全国障害者スポーツ大会の主催者は、公益財団法人日本パラスポーツ協会、文部科学省、開催地都道府県及び市町村、その他の関係団体となります。

4 大会の開催時期等

国民スポーツ大会（開催基準要項）

開催時期：9月中旬～10月中旬 開催期間：11日間以内

全国障害者スポーツ大会（開催基準要綱）

開催時期：原則として国スポの直後 開催期間：3日間

※会期については開催3年前（令和6年）に決定

5 実施予定競技（宮崎県）

＜国民スポーツ大会＞

(1) 正式競技（37競技）

陸上競技、水泳、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、ボクシング、バレーボール、体操、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、自転車、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

(2) 特別競技（1競技）

高等学校野球（硬式および軟式）

(3) 公開競技（7競技）

綱引、ゲートボール、武術太極拳、パワーリフティング、グラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、エアロビック

(4) デモンストラーションスポーツ

県内に居住している者を対象として実施する競技（※大会ごとに種目を決定）

例：ラジオ体操、少林寺拳法、ウォーキング、サーフィン等

<全国障害者スポーツ大会>

(1) 正式競技 (14 競技)

①個人競技

陸上競技、水泳、アーチェリー、卓球、フライングディスク、
ボウリング、ボッチャ

②団体競技

バスケットボール、車いすバスケットボール、ソフトボール、
グランドソフトボール、フットソフトボール、バレーボール、サッカー
※令和4年4月よりフットベースボールはフットソフトボールに名称を変更

(2) オープン競技

広く障がい者スポーツを普及する観点から有効と認められる競技

(※大会ごとに種目を決定)

栃木大会では、スポーツウエルネス吹矢、卓球バレー、車椅子ダンスの3競技
を実施。

6 文化プログラム

スポーツ文化や開催県の郷土文化等をテーマとし、開催県における国民スポーツ大会の開催の気運醸成や国民スポーツ大会の目的や意義の全国的な普及啓発等を目的として実施されるプログラム。

7 先催大会での参加者数

(県全体：延べ人数)

	国民スポーツ大会 (第74回茨城国体(2019)実績)	全国障害者スポーツ大会 (第18回福井大会(2018)実績)
選手・監督	94,411人	24,201人
大会関係者	125,380人	32,473人
観覧者	551,397人	42,939人
合計	771,188人	99,613人

※大会関係者：大会役員、競技会役員、補助員、報道員、視察員等

※第19回茨城大会(2019)は台風接近のため中止



延岡市開催予定競技及び開催予定施設

(1) 国民スポーツ大会

競技種目		種別	開催予定施設	延べ参加者数見込
正式競技	水泳 オープンウォータースイミング 	全種別	(仮称) 下阿蘇ビーチ特設会場 ※検討中	3,500 人
	バレーボール (6人制) 	成年女子	新宮崎県体育館	9,500 人
	体操 競技 	全種別		26,000 人
		新体操 		
	柔道 	全種別		11,000 人
	軟式野球 	成年男子	西階公園野球場	7,500 人
	ソフトボール 	成年男子		6,500 人
公開競技	武術太極拳 	全種別	新宮崎県体育館	2,000 人
	パワーリフティング 	全種別		1,000 人
国民スポーツ大会 延べ参加者数見込				67,000 人

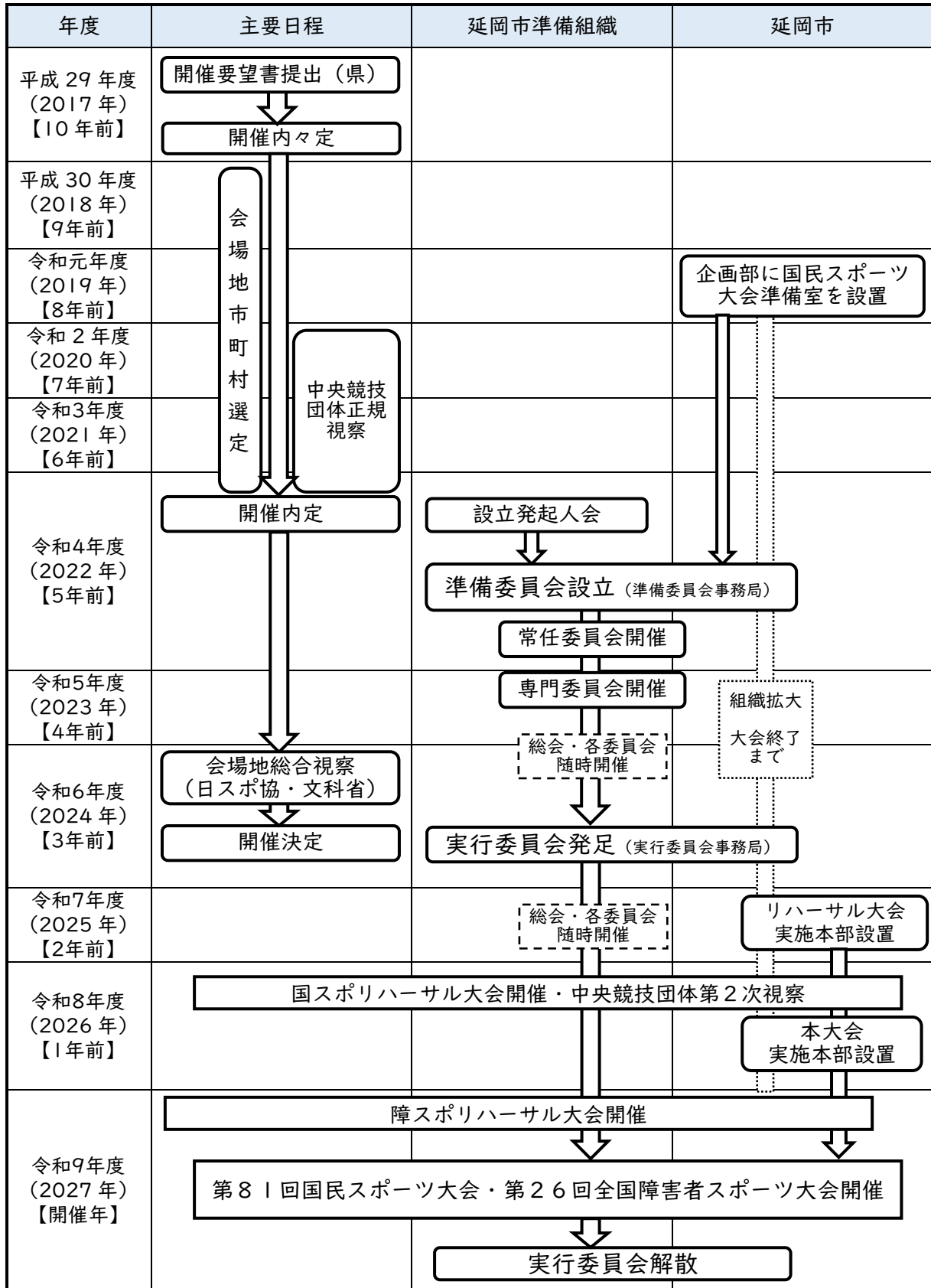
※参加者数（選手・監督、大会関係者、観覧者）は先催県の状況を参考に作成

(2) 全国障害者スポーツ大会

	競技種目	種別	開催予定施設	延べ参加者数見込
正式競技	バスケットボール 	全種別	新宮崎県体育館	1,800人
	車いすバスケットボール 	全種別		4,500人
	フットソフトボール 	全種別	西階公園	1,800人
全国障害者スポーツ大会 延べ参加者数見込				8,100人

※参加者数（選手・監督、大会関係者、観覧者）は先催県の状況を参考に作成

第 81 回国民スポーツ大会・第 26 回全国障害者スポーツ大会の開催に向けたスケジュール



第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会 延岡市準備委員会設立趣意書

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催される国内最大の国民スポーツの祭典です。

また、全国障害者スポーツ大会は、障がいのある人が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障がいに対する理解を深め、障がいのある人の社会参加の推進に寄与することを目的として開催される障がい者スポーツの全国的な祭典です。

本市は、陸上や柔道、水泳競技などにおいて、多くの世界的なアスリートを輩出しており、スポーツを活かしたまちづくりとして、本市のイメージ向上や交流人口の増大を図る「アスリートタウンづくり」を進めてきております。

このような中で、第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会が、宮崎県、そして本市において開催されることは、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じた市民の健康増進や生きがいがいづくりに大きく寄与するとともに、誰もが互いに尊重し、支えあって生きる社会づくりに貢献するものです。

また、大会の開催は、本市の多彩な魅力を全国に発信する絶好の機会であり、「おせったいのまち」として市民が一丸となった取組を行うことは、本市の都市像である「市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が躍動するまち のべおか」の実現に向けて極めて有意義なものと期待されます。

このような意義ある大会を成功に導くため、市民・関係団体・企業・行政の協働によるオール延岡での「第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会延岡市準備委員会」を設立するものであります。

第 8 1 回国民スポーツ大会・第 2 6 回全国障害者スポーツ大会設立発起人

延岡市長	読谷山 洋司
延岡市議会議長	本部 仁俊
一般社団法人 延岡市スポーツ協会会長	末次 稔
延岡商工会議所会頭	吉玉 典生
延岡市区長連絡協議会会長	森口 正輝
延岡市障がい者自立支援協議会会長	甲斐 由美子
延岡市教育委員会教育長	澤野 幸司

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会

延岡市準備委員会会則（案）

第1章 総則

（名称）

第1条 この会は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会延岡市準備委員会（以下「準備委員会」という。）と称する。

（目的）

第2条 準備委員会は、第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会において、延岡市で開催される競技会（以下「競技会」という。）の円滑な運営に関し、必要な準備を行うことを目的とする。

（所掌事項）

第3条 準備委員会は、前条の目的を達成するため、次に掲げる事項を行う。

- （1） 競技会の開催に必要な方針及び計画の決定に関すること。
- （2） 競技会の開催に係る準備に関すること。
- （3） 競技会の開催に必要な施設及び設備の整備に関すること。
- （4） 競技会の開催及び準備のための経費に関すること。
- （5） 関係競技団体、関係団体及び関係機関との連絡調整に関すること。
- （6） その他、準備委員会の目的達成に必要な事項に関すること。

第2章 組織

（組織）

第4条 準備委員会は、会長及び委員をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから会長が委嘱する。

- （1） 延岡市を代表する者
- （2） 延岡市議会を代表する者
- （3） 関係競技団体、関係団体及び関係機関を代表する者
- （4） その他会長が特に必要と認める者

(役員)

第5条 準備委員会に次に掲げる役員を置く。

- (1) 会長
- (2) 副会長
- (3) 常任委員
- (4) 監事

(役員を選任)

第6条 会長は、延岡市長をもって充てる。

- 2 副会長、常任委員及び監事は、総会の承認を得て、委員のうちから会長が委嘱する。

(役員職務)

第7条 会長は、準備委員会を代表し、会務を総理する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故のあるとき、又は欠けたときはあらかじめ会長が指名した順序により、その職務を代理する。
- 3 常任委員は、常任委員会を構成し、第12条第6項に掲げる事項を審議する。
- 4 監事は、準備委員会の財務を監査する。

(任期等)

第8条 委員及び役員（以下「委員等」という。）の任期は、委嘱されたときから準備委員会の目的が達成され、解散したときまでとする。ただし、委員等が就任時におけるそれぞれの所属団体又は機関の役職を離れた場合は、その委員等は辞職したものとみなし、その後任者が前任者の残任期間を務めるものとする。

- 2 会長は、委員等に特別な事情が生じたときは、その職を解き、必要に応じて補充することができる。
- 3 会長は、前2項の規定により委員等に変更があったときは、次の総会において報告する。
- 4 委員等は、無報酬とする。

(顧問及び参与)

第9条 準備委員会に、顧問及び参与を置くことができる。

- 2 顧問及び参与は、会長が委嘱する。
- 3 顧問は、会長が重要と認める事項について、会長の諮問に応じ、助言を行う。
- 4 参与は、会長が必要と認める事項について、会長の諮問に応じ、助言を行う。

5 前条の規定は、顧問及び参与の任期等について準用する。

第3章 会議

(会議の種類)

第10条 準備委員会に、次に掲げる会議を置く。

- (1) 総会
- (2) 常任委員会
- (3) 専門委員会

(総会)

第11条 総会は、会長及び委員等をもって構成する。

- 2 総会は、必要に応じて会長が招集する。
- 3 総会の議長は、会長又は会長が指名した者がこれに当たる。
- 4 総会は、次に掲げる事項について審議し、議決する。
 - (1) 競技会の開催に係る基本方針等に関すること。
 - (2) 会則の制定及び改廃に関すること。
 - (3) 事業計画及び事業報告に関すること。
 - (4) 予算及び決算に関すること。
 - (5) 常任委員会に委任する事項に関すること。
 - (6) その他重要な事項に関すること。
- 5 総会は、委員等の過半数の出席がなければ開催し、議決することができない。ただし、総会に出席できない委員等は、あらかじめ通知された事項について、代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わることができる。
- 6 議会の議事は、出席委員等（代理人に権限を委任し、又は書面で議決に加わった者を含む。）の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。
- 7 会長は、必要に応じて顧問又は参与に総会への出席を求めることができる。
- 8 会長は、必要があると認めるときは、委員へ事前に送付した議案に対し書面をもって表決を求め、その結果を総会の議決に代えることができる。

(常任委員会)

第12条 常任委員会は、副会長及び常任委員をもって構成する。

- 2 委員長及び副委員長は、副会長のうちから会長が指名する。
- 3 常任委員会は、必要に応じて委員長が招集する。
- 4 常任委員会の議長は、委員長又は委員長が指名した者がこれに当たる。

- 5 委員長に事故があるとき、又は欠けたときは副委員長がその職務を代理する。
- 6 常任委員会は、次に掲げる事項について審議し、決定する。
 - (1) 総会から委任された事項に関すること。
 - (2) 専門委員会の設置並びに専門委員会への付託及び委任事項に関すること。
 - (3) 総会を招集するいとまのない緊急な事項に関すること。
 - (4) その他委員長が必要と認める事項に関すること。
- 7 前条第5項、第6項及び第8項の規定は、常任委員会について準用する。
- 8 常任委員会は、第6項の規定により審議し、決定した事項及び次条第2項の規定により専門委員から報告があった事項を次の総会に報告するものとする。

(専門委員会)

- 第13条 専門委員会は、会長が委嘱した専門委員をもって構成する。
- 2 専門委員会は、常任委員会から委任又は付託された事項について調査、審議し、その結果を常任委員会に報告するものとする。
 - 3 前2項の規定に定めるもののほか、専門委員会に関して必要な事項は、常任委員会に諮った上で、会長が別に定める。
 - 4 第8条の規定は、専門委員の任期等について準用する。

第4章 会長の専決処分

(会長の専決処分)

- 第14条 会長は、総会及び常任委員会（以下「総会等」という。）を招集するいとまがないとき、又は総会等の権限に属する事項で簡易なものについては、これを専決処分することができる。
- 2 会長は、前項の規定により専決処分したときは、これを次の総会等において報告し、その承認を得なければならない。

第5章 事務局

(事務局)

- 第15条 準備委員会の事務を処理するため、事務局を置く。
- 2 事務局に関し、必要な事項は、会長が別に定める。

第6章 会計

(経費)

第16条 準備委員会の経費は、負担金及びその他の収入をもって充てる。

(予算及び決算)

第17条 準備委員会の収支予算は、総会の議決により定め、収支決算は、監事の監査を経て、総会の承認を得なければならない。

(会計年度)

第18条 準備委員会の会計年度は、毎年4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

2 準備委員会の会計に関して必要な事項は、会長が別に定める。

第7章 解散

(解散)

第19条 準備委員会は、第2条に規定する目的が達成されたときは、総会の議決を経て解散するものとする。

2 準備委員会が解散するとき有する残余財産は、延岡市に帰属するものとする。

第8章 補則

(委任)

第20条 この会則に定めるもののほか、準備委員会の運営に関し、必要な事項は会長が別に定める。

附 則

この会則は、令和4年 月 日から施行する。

第2号議案

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 延岡市準備委員会委員・役員等(案)

(順不同・敬称略)

【会長】1名

選出区分	所属団体等	役職名	氏名
市	延岡市	市長	読谷山 洋司

【副会長】8名

選出区分	所属団体等	役職名	氏名
産業・経済	延岡商工会議所	会頭	吉玉 典生
スポーツ・レクリエーション	一般社団法人 延岡市スポーツ協会	会長	末次 稔
社会団体	延岡市区長連絡協議会	会長	森口 正輝
	延岡市障がい者自立支援協議会	会長	甲斐 由美子
市議会	延岡市議会	議長	本部 仁俊
市	延岡市	副市長	山本 一丸
	延岡市	副市長	中間 弘
	延岡市教育委員会	教育長	澤野 幸司

【常任委員】26名

選出区分	所属団体等	役職名	氏名
市議会	延岡市議会	副議長	北林 幹雄
県競技団体	宮崎県バレーボール協会	理事長	中馬 義郎
	宮崎県軟式野球連盟	会長	酒匂 醸以
	宮崎県柔道連盟	会長	鳥居 敏文
	宮崎県ソフトボール協会	会長	押川 尚生
	一般財団法人 宮崎県水泳連盟	会長	武井 俊輔
	宮崎県体操協会	副会長	海老原 郷士
	宮崎県武術太極拳連盟	会長	高木 良典
	宮崎県パワーリフティング協会	会長	矢野 秀幸
スポーツ・レクリエーション	一般社団法人 延岡市スポーツ協会	副会長	稲田 和利
	一般社団法人 延岡市スポーツ協会	副会長	吉田 建世
	一般社団法人 延岡市スポーツ協会	副会長	木村 隆次
	延岡市スポーツ推進委員協議会	会長	岡本 真奈美
学校関係	宮崎県立延岡しろやま支援学校	校長	出水 悌二
産業・経済	延岡農業協同組合	代表理事組合長	楠田 富雄
	延岡市水産振興委員会	委員長	宇戸田 定信
宿泊・衛生・観光	一般社団法人 延岡観光協会	代表理事	盛武 一則
	宮崎県ホテル旅館業生活衛生同業組合延岡支部	支部長	山田 圭吾
	宮崎県飲食業生活衛生同業組合延岡支部	支部長	高田 重幸
通信・運輸	九州旅客鉄道株式会社 宮崎支社 延岡駅	駅長	有村 哲治
	宮崎交通株式会社 延岡営業所	所長	豊丸 佳郎
	宮崎県タクシー協会 延岡支部	支部長	森重 和人
医療・福祉	社会福祉法人 延岡市社会福祉協議会	会長	柳田 泰宏
	一般社団法人 延岡市医師会	会長	佐藤 信博
社会団体	NPO法人 延岡市しょうがい者大輪の会	理事長	甲斐 直義
市	延岡市企画部	部長	三浦 健

【監事】2名

選出区分	所属団体等	役職名	氏名
市	延岡市	会計管理者	中田 貴樹
	延岡市	監査委員	服部 俊明

【委員】49名

選出区分	所属団体等	役職名	氏名
国・県関係	国土交通省 九州地方整備局 延岡河川国道事務所	事務所長	麻生 宏斉
	宮崎県延岡保健所	所長	救仁郷 修
	宮崎県延岡土木事務所	所長	横山 義仁
	宮崎県教育庁北部教育事務所	所長	永井 敬雄
	延岡警察署	署長	黒瀬 信太郎
市競技団体	延岡市バレーボール協会	会長	内田 理佐
	延岡市軟式野球連盟	会長	吉田 建世
	延岡地区柔道会	会長	中島 満治
	延岡市ソフトボール協会	会長	高尾 雄平
	延岡市水泳協会	会長	後藤 哲朗
	延岡市武術太極拳協会	会長	吉田 信子
スポーツ・レクリエーション	延岡市スポーツ少年団本部	本部長	保田 篤則
	特定非営利活動法人アスリートタウンのべおか	理事長	森山 慎作
	延岡市健康教室推進協議会	会長	首藤 邦子
	延岡市小学校体育連盟	会長	甲斐 憲一
	延岡地区中学校体育連盟	会長	城戸 勇司
	宮崎県高等学校体育連盟県北支部	支部長	吉玉 拓
学校関係	九州保健福祉大学	学長	兒玉 修
	延岡市保育協議会	理事長	小川 靖子
	延岡市学校法人立幼稚園協会	会長	三宅 貴之
	延岡市小学校校長会	会長	鈴木 泰昌
	延岡市中学校校長会	会長	粟田 茂樹
	宮崎県県立学校長協会	県北地区理事	堀切 康博
産業・経済	旭化成株式会社 延岡支社	延岡総務部長	米田 昌樹
	延岡市三北商工会	会長	佐藤 民男
	のべおか道の駅株式会社	社長	高木 亨輔
	延岡市商店会連合会	会長	友井 康弘
	延岡地区建設業協会	会長	木村 健一
	延岡地区森林組合	代表理事組合長	工藤 良長
	一般社団法人 延岡青年会議所	理事長	桑原 一太
宿泊・衛生・観光	公益社団法人 宮崎県栄養士会	理事	藤田 邦子
	一般社団法人 宮崎県産業資源循環協会県北支部	支部長	佐藤 修一
通信・運輸	日本郵便株式会社 延岡郵便局	局長	興梠 秀明
	西日本電信電話株式会社 宮崎支店	支店長	栗畑 秀哉
	九州電力株式会社 延岡営業所	所長	中村 公彦
医療・福祉	一般社団法人 延岡市歯科医師会	会長	岩崎 浩行
	一般社団法人 延岡市西臼杵郡薬剤師会	会長	佐藤 智加子
警備・消防	延岡地区交通安全協会	会長	上杉 義則
	延岡地区防犯協会	会長	野中 玄雄
社会団体	延岡市公民館連絡協議会	会長	佐藤 進一
	延岡市PTA連絡協議会	会長	森山 慎作
	延岡市地域婦人連絡協議会	会長	山口 和代
	日本ボーイスカウト宮崎連盟北部地区協議会	会長	今井 武司
	ガールスカウト延岡地区協議会	会長	高城 まり子
	延岡市青少年育成連絡協議会	会長	田中 信恵
	延岡市食生活改善推進員協議会	会長	小野 マサ子
	延岡市さんさんクラブ連合会	事務局長	脇坂 栄三郎
	のべおか男女共同参画会議21	事務局長	柳田 憲広
	延岡市文化連盟	会長	町田 訓久

【顧問】33名

選出区分	所属団体等	役職名	氏名
県議会議員	宮崎県議会	議員	井本 英雄
	宮崎県議会	議員	太田 清海
	宮崎県議会	議員	田口 雄二
	宮崎県議会	議員	河野 哲也
市議会議員	延岡市議会	議員	吉本 靖
	延岡市議会	議員	松田 勝則
	延岡市議会	議員	峯田 克明
	延岡市議会	議員	比江島 久美子
	延岡市議会	議員	柴 浩信
	延岡市議会	議員	甲斐 忠篤
	延岡市議会	議員	猪之鼻 哲
	延岡市議会	議員	田村 吉宏
	延岡市議会	議員	甲斐 行雄
	延岡市議会	議員	長友 幸子
	延岡市議会	議員	松本 哲也
	延岡市議会	議員	甲斐 正幸
	延岡市議会	議員	三上 毅
	延岡市議会	議員	小野 正二
	延岡市議会	議員	白石 良盛
	延岡市議会	議員	下田 英樹
	延岡市議会	議員	松田 和己
	延岡市議会	議員	早瀬 賢一
	延岡市議会	議員	平田 信広
	延岡市議会	議員	上杉 泰洋
	延岡市議会	議員	河野 治満
	延岡市議会	議員	佐藤 誠
	延岡市議会	議員	松田 満男
延岡市議会	議員	中城 あかね	
延岡市議会	議員	稲田 雅之	
市教委関係	延岡市教育委員会	教育長職務代理者	宮田 靖
	延岡市教育委員会	教育委員	久世 由美子
	延岡市教育委員会	教育委員	高橋 勝栄
	延岡市教育委員会	教育委員	甲斐 千尋

【参与】8名

選出区分	所属団体等	役職名	氏名
	株式会社 毎日新聞社	延岡通信部 記者	重春 次男
	株式会社 読売新聞西部本社	延岡支局長	小川 哲雄
	株式会社 宮崎日日新聞社	延岡支社長	清水 克彦
	株式会社 夕刊デイリー新聞社	代表取締役社長	松永 和樹
	株式会社 宮崎放送	延岡支社長	今別府 京子
	NHK宮崎放送局	延岡支局 記者	玉木 絢子
	株式会社 テレビ宮崎	営業部長兼延岡支社長	戸高 俊二
	株式会社 ケーブルメディアワイワイ	代表取締役専務	栞山 慎二

第 1 回 総 会

第1回総会 次第

1 開会

2 審議事項

- ・第1号議案 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
延岡市開催基本方針(案) P19
- ・第2号議案 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
延岡市準備委員会 令和4年度事業計画(案) P20
- ・第3号議案 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
延岡市準備委員会 令和4年度収支予算(案) P21
- ・第4号議案 第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
延岡市準備委員会総会から常任委員会への委任事項(案) ・ P22

3 その他

- ・いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会視察報告等
- ・事務連絡

4 閉会

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 延岡市開催基本方針（案）

1 開催基本方針

延岡市は、陸上や柔道、水泳競技などにおいて、多くの世界的なアスリートを輩出しており、スポーツを活かしたまちづくりとして、本市のイメージ向上や交流人口の増大を図る「アスリートタウンづくり」を進めています。

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会の開催により、市民のスポーツへの関心を高め、スポーツを通じた市民の健康増進や生きがいがづくりに大きく寄与するとともに、誰もが互いに尊重し、支えあって生きる社会づくりに貢献します。

また、大会の開催は、本市の多彩な魅力を全国に発信する絶好の機会であり、「おせったいのまち」として市民が一丸となった取組を行うことにより、本市の都市像である「市民がまんなか～市民力・地域力・都市力が躍動するまちのべおか」の実現につながる大会を目指します。

2 実施目標

(1) オール延岡で創りあげる大会

市民が、スポーツを「する」、「みる」、「支える」など、市民がそれぞれの立場で大会に関わることにより、全国から参加する選手や関係者のみなさんに最高の舞台を提供する大会を、オール延岡で目指します。

(2) アスリートタウンの更なる飛躍につなげる大会

大会を契機として、全国・九州規模の新たな大会や、プロ・実業団・大学といったトップアスリートの合宿誘致を推進するとともに、市民のスポーツや生きがいがづくりに対する意欲や関心を高め、アスリートタウンとして更なる飛躍につなげる大会を目指します。

(3) 延岡市の魅力を発信する大会

本市の歴史文化、自然、食、スポーツ、産業などを生かし、「おせったいのまち」として、市民が心をつなげて取り組むことにより、本市の多彩な魅力を全国に発信する大会を目指します。

(4) 共に支え合う社会づくりに貢献する大会

市民が世代や組織、障がいのあるなしにかかわらず連携することにより、地域住民の結びつきを強め、誰もが互いに尊重し、支え合って生きる社会づくりに貢献する大会を目指します。

第2号議案

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 延岡市準備委員会 令和4年度事業計画（案）

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会延岡市準備委員会の令和4年度事業計画は、次のとおりとする。

1 会議の開催

- (1) 総会
- (2) 常任委員会

2 開催準備業務の推進

- (1) 各種基本計画策定及び要項作成
- (2) 専門委員会の設置要項作成
- (3) 県からの各種調査への対応
- (4) その他競技会の開催準備に係る事項の推進

3 関係機関及び競技団体との連絡調整

- (1) 県準備委員会との連絡調整
- (2) 競技団体及び共催市町等との連絡調整

4 先催地の開催準備に係る調査・研究

- (1) いちご一会とちぎ国体・とちぎ大会の開催状況調査
- (2) 先催地準備状況の情報収集等

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会
延岡市準備委員会 令和4年度収支予算書（案）

【収入】

（単位：千円）

科目	金額	備考
市負担金	1,117	延岡市負担金
諸収入	0	預金利息等
	1,117	

【支出】

（単位：千円）

科目	金額	備考
総務費	504	
会議費	100	消耗品費、印刷製本費、通信運搬費等
事務局費	404	消耗品費、旅費、使用料等
開催推進費	613	
広報啓発費	300	啓発グッズ作成費等
調査研究費	313	先催県調査費等
合 計	1,117	

第4号議案

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会 延岡市準備委員会総会から常任委員会への委任事項（案）

第81回国民スポーツ大会・第26回全国障害者スポーツ大会延岡市準備委員会会則第11条第4項第5号に基づく総会から常任委員会への委任事項は、次のとおりとする。

- 1 開催準備の総合企画及び運営に関すること。
- 2 広報及び市民運動に関すること。
- 3 競技会場及び競技運営並びに式典に関すること。
- 4 宿泊及び医事衛生に関すること。
- 5 輸送、交通、警備及び消防に関すること。
- 6 その他会務に必要な事項に関すること。

